

## (8) 臨床心理士受験資格について

臨床心理士とは（財）日本臨床心理士資格認定協会により、認定される資格である。本研究科は、「臨床心理士」受験資格に伴う第1種の養成機関としての指定を受けている。

### ①受験資格取得方法

本研究科において、下記により必要な要件を充たせば、受験資格を得ることができる。

1) 臨床心理士の受験資格取得に必要な単位は次のとおり。履修漏れのないよう十分注意すること。

	指定大学院基本モデル（日本臨床心理士資格認定協会）	本研究科設置科目		
必修科目	臨床心理学特論（4単位） 臨床心理面接特論（4単位） 臨床心理査定演習（4単位） 臨床心理基礎実習（2単位） 臨床心理実習（2単位）  ※上記科目は毎年開講し、専任教員が担当する。 臨床心理基礎実習と臨床心理実習は複数の臨床心理士である専任教員が毎回指導に当たる。	左記より、 5科目・16単位を 修得のこと		
選択必修科目	A 群 心理学研究法特論 心理学統計法特論 臨床心理学研究法特論	臨床心理学特論（4単位） 臨床心理面接特論Ⅰ（2単位） 心理支援に関する理論と実践 （臨床心理面接特論Ⅱ）（2単位） 臨床心理査定特論（4単位） 臨床心理基礎実習（2単位） 臨床心理実習Ⅰ（1単位） 心理実践実習D （臨床心理実習Ⅱ）（1単位）	左記より、 7科目・16単位以上 を修得のこと	
	B 群 人格心理学特論 発達心理学特論 学習心理学特論 認知心理学特論 生理心理学特論 大脳生理学特論 比較行動学特論 教育心理学特論	左記のA・B・C・ D・Eの各群から それぞれ2単位以 上、計10単位以上 修得のこと	A 群 心理学研究法特論（4単位） 心理学統計法特論（4単位）  B 群 発達心理学特論（2単位） 発達臨床学特論（2単位） 福祉分野に関する理論と支援の 展開（福祉心理学特論）（2単位）	左記のA・B・C・D・ Eの各群からそれ ぞれ2単位以上、合 計10単位以上を修 得のこと
	C 群 社会心理学特論 集団力学特論 社会病理学特論 家族心理学特論 犯罪心理学特論 臨床心理関連行政論		C 群 産業・労働分野に関する理論と 支援の展開 （社会心理学特論）（2単位） 司法・犯罪分野に関する理論と 支援の展開 （犯罪心理学特論）（2単位） 家族関係・集団・地域社会におけ る心理支援に関する理論と実践 （家族力動論特論）（2単位）	
	D 群 精神医学特論 心身医学特論 老年心理学特論 障害児（者）心理学特論 精神薬理学特論		D 群 保健医療分野に関する理論と 支援の展開 （精神医学特論）（2単位） 心の健康教育に関する理論と実 践（医学的心理学特論）（2単位） 精神分析学（2単位）	

	E 群 投影法特論 心理療法特論 学校臨床心理学特論 グループ・アプローチ特論 コミュニティ・アプローチ特論		E 群 心理的アセスメントに関する理論と実践（臨床心理査定実習）（2 単位） 心理療法特論 1（2 単位） 心理療法特論 2（2 単位） 心理療法特論 3（2 単位） イメージ療法特論（2 単位） 教育分野に関する理論と支援の展開 （学校臨床心理学特論）（2 単位）	
--	---	--	--	--

2) 修士論文のテーマと内容を必ず臨床心理学に関するもので作成すること。

## ②資格審査

資格審査は毎年秋（10～11月頃）に1回実施され、一次試験（筆記）、二次試験（口述面接）により行われる。本研究科を修了した者はその年の秋に実施される試験より受験可能となる。

1) 資格審査までのスケジュールについては、日本臨床心理士資格認定協会 HP にて確認すること。

2) 資格審査申請書類請求方法については、上記協会 HP 内にて確認すること。

※ 「臨床心理士受験申請資格証明書」（指定用紙）は大学にて記入作成するので、出願期間に間に合うよう早めに書類を取り寄せ、大学に申し込むこと。申込方法は大学 HP を参照。